

ステークホルダーとのコミュニケーション

様々なステークホルダーの皆様とのコミュニケーションを推進することが、当社グループの成長につながると考えています。

環境コミュニケーションの考え方

東京エレクトロングループでは、事業活動によって発生する環境負荷を最小限にするとともに、健康・安全への取り組みも積極的に行っています。これらの活動をより効果的に推進していくためには、事業活動にかかわるすべての皆様へ、できるだけ多くの情報を発信し、共有化を行って、コミュニケーションを深めていくことが不可欠です。当社グループでは2000年より環境報告書を発行して、情報開示に努めています。環境報告書ほか、当社グループの環境、健康、安全についての考え方についてはホームページからご覧になれます。

 <http://www.tel.co.jp>



環境報告書2000



環境報告書2001



環境報告書2002

「EHSタイムズ」の発行とイントラネットの活用

当社グループでは、EHSに関する社内報として「EHSタイムズ」を二カ月に一度発行し、各種委員会での審議内容や、各社・各地区での取り組み内容などEHSに関する様々な情報をわかりやすく紹介しています。このようなEHS関連の広報誌は、各社・各地区でもつくられ、従業員へのEHSに関する意識浸透に役立てられています。また、各社・各地区ではイントラネットにより情報の開示および交換を積極的に行っています。特に海外地区のEHS担当部門では、各国特有の法律や慣行事例の状況を紹介することにより情報の共有化を図っています。



「EHSタイムズ」



イントラネット

台湾で環境・健康・安全セミナーを実施

昨年に引き続き、2002年も台湾の新竹市で、台湾のお客様を対象に「2002 TEL EHS Seminar」を開催しました。多数のお客様にご参加いただき、当社グループの環境・健康・安全に関する考え方、当社製品のLCA（ライフサイクルアセスメント）の結果、省エネルギー事例、当社製品の使用、取り扱い上の注意点などを当社グループ各ビジネスユニットの担当者から紹介しました。セミナーの最後には、セミナーで紹介された安全ツールや当社グループの安全の取り組みなどに関する活発な質疑応答がありました。

今後も継続的にこのセミナーを開催し、製品の環境安全に関する事項の紹介など情報開示に努めていきます。



台湾EHSセミナー

業界における活動

当社グループはSEAJ（(社)日本半導体製造装置協会）に所属し、業界の環境活動においてコミュニケーションを積極的に行っています。具体例としては、SEAJの環境部会に参加し、「エコデザイン・ガイドライン」「グリーン調達ガイドライン」の作成について協力しました。エコデザイン・ガイドラインでは半導体製造装置のLCA手法、省エネルギー、有害物質、リサイクル・リユース・リデュースについての指針を打ち出し、グリーン調達ガイドラインでは、取引先との共同で環境配慮に取り組む手法をまとめています。このようなガイドラインの作成に協力できた背景には、当社グループが数年前から取り組んできたLCAやグリーン調達の活動実績を基盤とすることができたためと考えています。



半導体製造技術フォーラムでの発表